

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

JAソーラー グリーンプロジェクトボンド信託(福島) 信託受益権および信託 ABL

【据置】

信託受益権格付	BBB-
ABL格付	BBB-

■格付事由

本件は、中国の太陽光モジュールメーカーである JA Solar グループが福島県福島市にて行う太陽光発電事業に対するプロジェクトファイナンスにかかる格付である。

1. 本プロジェクトの現状

23年11月における格付レビュー以降、プロジェクトの運営はAMである当グループ及びO&M業者によって大きな支障なく行われている。一方、損害保険会社による太陽光発電の自然災害リスクにかかる引受内容の縮小や保険料の引き上げに直面している。

2. 発電量実績の分析

本プロジェクトの直近1年間（23年12月～24年11月）の発電実績は、当初計画値（P50）を若干下回っている。主な要因として、24年3月および5月に自営線に木の枝が接触し数日間にわたり発電が停止したこと、また、24年7-10月に前線接近の影響などにより日射量が想定を下回ったことなどが挙げられる。

3. 格付評価

前回格付レビュー以降の発電量実績やDSCRは当初JCR想定対比で特段問題無い水準で推移している。一方、損害保険の引受内容の縮小や保険料の引き上げがプロジェクトの負担を増加させている。損害保険の引受内容の縮小に関しては、プロジェクトサイトにおける土砂災害リスクは低いとの評価結果が得られている。また、雪災に関しては2021年度冬季の大雪において特段の被害が無かったことなどが現状のサポート材料になっている。保険料の引き上げに関しては、今回の格付見直しにおいてJCRにおけるキャッシュフローのベースケースを引き直した。また、新たなベースケースの下、ストレステストを実施した。その結果、Loan Life DSCRは従前対比で0.2ポイント押し下げられるものの、現時点では格付対比でみて遜色ない債務履行能力が保持されていることを確認した。具体的には、外部の評価会社がプロジェクト当初に予想した出力制御率のうち最も悲観的なシナリオを参照し、降雪に関して一定のストレスを加えたとしても債務履行の蓋然性が認められることを確認した。

以上を踏まえ、本信託受益権および信託ABLの格付を「BBB-」に据え置いた。損害保険の引受内容の縮小に関しては、今後PML対比でみた加入保険の適切性が検証される予定であり、その内容も踏まえたうえで格付への影響を精査していく。

(担当) 岩崎 智彦・梅沢 謙吾

■格付対象

【据置】

対象	当初発行金額/実行金額	信託終了日	クーポン・タイプ	格付
信託受益権	4,300,000,000円	2040年4月2日	固定	BBB-
信託ABL	1,000,000,000円	2040年4月2日	固定	BBB-

<発行の概要に関する情報>

信託設定日	2019年2月13日
受益権譲渡日	2019年2月13日
ABL 実行日	2019年2月28日
償還/返済方法	スケジュール償還/返済
流動性・信用補完措置	なし ※裏付となる貸付債権における流動性補完・信用補完として、現金準備・優先劣後構造

<ストラクチャー、関係者に関する情報>

委託者	ゴールドマン・サックス証券株式会社
受託者	三菱HCキャピタル信託株式会社
メガソーラープロジェクト運営会社	福島中森発電所合同会社
アセットマネージャー	JAソーラー・ジャパン・アセットマネジメント合同会社
アレンジャー	ゴールドマン・サックス証券株式会社

<裏付資産に関する情報>

裏付資産の概要	メガソーラープロジェクト運営会社への貸付債権
---------	------------------------

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年12月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典
主任格付アナリスト：岩崎 智彦
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準については、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法（格付方法）の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「プロジェクトファイナンス」（2012年8月28日）の信用格付の方法として掲載している。回収金口座や倒産隔離など他の付随的な論点についても上記のページで格付方法を開示している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 福島中森発電所合同会社
(アレンジャー) ゴールドマン・サックス証券株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付対象商品および裏付資産に関する、関係者から入手した証券化関連契約書類
なお、上記については関係者が証券化関連契約書類上で情報の正確性に関する表明保証を行っている。
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、いずれかの格付関係者による表明保証もしくは対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル